

第1回プラズマ理工学討論会

PDP光源の医療、農業分野への展開

水銀フリーで低環境負荷であるPDP光源は、近紫域から赤外域までの拡散光を、任意周波数で発することがきるので、皮膚治療や植物成長制御のための次世代光源として注目されています。本討論会では、PDP新光源の特長、放電および蛍光体、応用例について議論します。

日時：2016年3月28日、13時25分～16時30分

場所：静岡大学電子工学研究所、第2会議室、参加費：未定

プログラム

- 13:25 開会
- 13:30 「LAFi (Luminous Array Film) 技術によるプラズマ応用の新展開」
合同会社紫光技研 粟本健司、篠田プラズマ(株) 篠田傳
- 14:00 「微細管放電管の発光効率向上」
電気通信大学先進理工学専攻 志賀智一
- 14:25 「プラズマパルス光による光合成反応制御の可能性」
徳島文理大学大学院ナノ物質工学専攻 梶山博司
- 14:50 休憩
- 15:10 「植物栽培用途を目指した蛍光体の開発」
徳島文理大学ナノ物質工学科 國本崇、藤田佳子
- 15:35 「アルミン酸亜鉛紫外発光蛍光体の合成と評価」
静岡大学大学院工学領域 小南裕子
- 16:00 特別講演 静岡大学電子工学研究所 中西洋一郎
- 16:30 閉会

参加申込、問合先：

電子通信大学 志賀智一 (shiga@ee.uec.ac.jp)

徳島文理大学 梶山博司 (kajiyama@fst.bunri-u.ac.jp)